



南条つ子

南条小学校だより

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和4年11月9日発

第35号



○ 後期指導主事訪問

11月8日(火)、後期指導主事訪問がありました。指導主事訪問というのは、先生方の授業を教育委員会の指導主事に参観していただき、アドバイスを受けるもので、前期と後期の2回行われます。今回は、南越前町教育委員会から教育長さんと教育審議監(指導主事)、越前市教育委員会から体育指導主事が来られました。また、本校や南越前中学校の先生も参観しましたので、いつもと違い、緊張した雰囲気の中での授業だったと思います。

<全体参観授業> 5年2組 道徳科 教材名:手品師 内容項目:正直、誠実



腕は良いが、あまり売れず、生活も楽ではない手品師が、「父を亡くし、さびしうにしていた男の子との約束(明日も手品を見せる)を守るか」、「大劇場に出られるチャンス(明日から少し離れた町の大劇場のマジックショーに、代理出演する)を選ぶか」で悩む話です。この授業では、自分自身に誠実に生活しようという心情を育てることをねらいとしています。

もし自分だったらどうするかという意見を、タブレットのポジショニング機能を使って表しました。クラス全員の結果がスクリーンに映し出されると、ほぼ半々にきれいに分かれています。(本来、授業者側は、いろいろな結果を想定してその後の展開を準備しているのですが、どちらかの意見に一方的にかたよってしまうと授業がとてもやりにくいものです。その点、今回は理想的な結果が出ました。)

この話では、手品師は迷いに迷った結果、大劇場出演の誘いを断り、男の子との約束を守る決断をして、たった一人のお客さん(男の子)を前にして手品を見せるという結末でした。

主人公の手品師が悩み、決断するまでの迷いや葛藤について自分事として考えさせることで、自分自身に誠実に行動した手品師の思いについて気付かせようとするものですが、大劇場を選ぶと答えた児童が、間違っていたわけではありません。自分の夢を叶えるために、自分自身の気持ちに誠実に行動することになるからです。(しかしながら、男の子との約束を破ってしまうこととなりますが・・・) なかなか難しい選択だったと思いますが、この授業では、どちらを選んででも正解になります。

また、5年2組以外でも、1年1組、1年2組、2年1組、6年2組が道徳科の授業を、3年1組が体育科の授業を参観していただきました。



1年1組

1年2組

2年1組

【文部科学大臣メッセージ】

保護者、学校関係者、地域の皆さまへ

「児童虐待の根絶に向けて ～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」

○ 11月は児童虐待防止推進月間です。

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数(速報値)が過去最多を更新、高止まりしており、極めて深刻な状況です。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

○ 虐待は、しつけとは違い、子供の成長と人格形成に深刻な影響を与えます。

殴る、蹴るといった目に見える身体的虐待だけではなく、食事を与えない、放置する等のネグレクト、言葉によっておどかさず、無視する等の心理的虐待、性的虐待など様々な形で行われます。

○ 保護者の皆さま、親子の未来を守るため、大切なお子さまの健全な成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。心に余裕がない時はストレスの解消など、皆さま自身が休むことも大切です。子育てに不安や悩みがある時には、一人で抱え込まずに身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

○ 学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

○ 地域の皆さま、是非、子供や保護者の様子に関心を持って見守ってください。みなさまの声かけや日頃からのつながりが、保護者の不安軽減にもつながります。そして、子供の衣服や体がいつも汚れている、保護者が子育てに無関心であるなど虐待が疑われるサインに気付いた際は、ためらわずに最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」(“いち はやく”)に相談・通告してください。

○ 児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てる体制づくりが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和4年11月
文部科学大臣

永岡桂子